



# ナシ特報

No. 6

平成 27 年 6 月 12 日  
J A 中野市営農センター  
J A 中野市ナシ部会

梅雨期間は高温多湿状態が続き、果実腐敗性病害の感染・拡大に好適となります。この期間は、常に予防散布をこころがけ雨が続く前に散布を完了するようにしてください。また、5 月中旬から一部でハダニ類の発生が見られます。下記を参考に密度が高くなる前に殺ダニ剤の加用散布等を行ってください。

## ◆ 和梨の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

### 【有袋】6 月中下旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	6 月 20 日～25 日 *注意事項①、③参照	◆ 散布日：6 月 日
散布薬剤	水 100ℓ 展着剤 20ml *注意事項②参照 ベルコートフロアブル 66ml(14 日前、5 回) ダズバンDF(劇) 33g(21 日前、3 回) *注意事項③、④参照	◆ 散布量 ℓ
対象病害虫	黒斑病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ、(ハダニ類) *注意事項②参照	
散布量	10a 当り：450ℓ以上	
注意事項	① 上記の散布時期は目安です。前回散布後から雨が続けている場合は時期を早めて散布してください。 ② 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアピオンEの1,000倍（100ℓ当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。 ③ ハダニ類の発生が心配される場合は、カネマイトフロアブル1,000倍（前日、1回）を加用する。 ④ <b>ダズバンDFは劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑を持参してください。</b> ⑤ 死角がないように散布量は多めに設定する。また、園地の隅や外周等は手散布で補助する。	

(参考) 有袋 7 月上旬の薬剤散布予定：7/5～10

### 【無袋】6 月中旬の薬剤散布（前回より 10 日後）

散布時期	6 月 15 日～20 日 *注意事項①、③参照	◆ 散布日：6 月 日
散布薬剤	水 100ℓ 展着剤 20ml *注意事項②参照 ベルコートフロアブル 66ml(14 日前、5 回) ダズバンDF(劇) 33g(21 日前、3 回) *注意事項③、④参照	◆ 散布量 ℓ
対象病害虫	黒斑病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ、(ハダニ類) *注意事項②参照	
散布量	10a 当り：450ℓ以上	
注意事項	① 上記の散布時期は目安です。前回散布後から雨が続けている場合は時期を早めて散布してください。 ② 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアピオンEの1,000倍（100ℓ当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。 ③ ハダニ類の発生が心配される場合は、カネマイトフロアブル1,000倍（前日、1回）を加用する。 ④ <b>ダズバンDFは劇物薬剤です。購入の際は印鑑を持参してください。</b> ⑤ 死角がないように散布量は多めに設定する。また、園地の隅や外周等は手散布で補助する。 ⑥ 黒斑病の発生が見られた場合はロブドー水和剤800倍(14日前、5回)を特別散布する。 ⑦ 無袋栽培の薬剤散布間隔は、今回から梅雨が空ける7月中旬（第10回）までは、概ね10日で進めてください。	

(参考)

無袋第 6 月末の薬剤散布予定：6/25～30

無袋第 7 月上旬の薬剤散布予定：7/5～10

◆ 西洋梨の定期防除は裏面をご覧ください。

## 西洋梨の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

高温多湿状態となるこの梅雨は、輪紋病の最重要防除期間です。この期間に輪紋病の感染が進むと、果実成熟期に多発します。この期間の薬剤散布は常に予防効果を徹底し、梅雨の晴れ間をみて遅れないように実施してください。また、一部でハダニ類の早期発生が見られます。密度が低いこの時期に殺ダニ剤の散布を行ってください。

### 【有袋】6月中下旬の薬剤散布（前回より15日後）

散布時期	6月20日～25日頃 *注意事項①、③参照			◆ 散布日：6月 日
散布薬剤	水	1000		◆ 散布量
	展着剤	10ml		リットル
	カネマイトフロアブル	100ml	（前日、1回）	
	ダズバンDF (劇)	33g	（21日前、3回）	
	オキシラン水和剤	200g	（3日前、9回） *注意事項②参照	
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ、ハダニ類			
散布量	10アール当たり：600リットル			
注意事項	<p>① 今回の薬剤散布は、袋掛け前に確実に実施する。また、散布後3日以内に袋掛けを完了する。また、雨が続けている場合は、上記の散布時期より前倒して実施する。また、散布後3日以上経過し袋掛け前に雨が降った場合は、オキシラン水和剤500倍(3日前、9回)を特別散布してから袋掛けを行なう。</p> <p>② 有機銅成分を含む薬剤（オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等）の使用回数は合計で9回以内であるので注意すること。</p> <p>③ <b>ダズバンDFは劇物薬剤です。購入の際は印鑑を持参してください。</b></p> <p>④ 死角がないように散布量は多めに設定する。また、園地の隅や外周等は手散布で補助する。また、葉やけ防止のため、涼しい時間帯に散布する。</p> <p>⑤ 腐らん病感染拡大防止のため、病斑を見つけ次第トップジンMペーストを塗布する。</p>			

（参考）西洋梨有袋7月中旬の薬剤散布予定：7/10～15（前回より概ね20日後）

### ◆ 有袋栽培の推進について

西洋梨販売先からのクレームは、無袋栽培に集中しています。特に果実腐敗性の輪紋病対策・品質向上・ロス率の軽減のため、積極的に袋掛けを実施してください。**やむを得ず、無袋栽培に取り組みされる方は、6月中旬から薬剤散布内容が変わりますので、園芸技術課までご連絡ください。無袋の特報を配布します。（第1報6/12発行済み）**

### ◆ 仕上げ摘果について

現地では、摘果作業の遅れが目立ちますので、早めに進めましょう。ラ・フランスの着果量は概ね確保されている状況ですが、着果のバラツキがある場合は枝や樹毎に調整を図り、生産量の確保に努めてください。（詳しくはナシ部会特報No1をお読みください）

5月下旬からカメムシ類等の食害果や極端に肥大が悪い果実も目立ちます。仕上げ摘果の段階でできるだけ排除するようにしてください。